

第6章 行動計画

施策の柱	施策の領域	施策展開の方向	指標	現状値(H21)	目標値(H27)	県目標値(H27)	事業名	担当課	実施者(誰が)	対象(誰に)	何を	どのように(手段)	方向性	
1 望ましい食習慣の基礎づくり	(1) 家庭における食育の推進	① バランスのとれた食生活の推進	いつも朝食を食べる子どもの割合	幼児	96.7%	100%	100%(H22)	出前講座	健康増進課	管理栄養士 栄養士	保護者	朝食摂取の重要性	講話 資料配布	継続
				小学生	94.9%	100%	100%(H22)	出前講座	健康増進課	管理栄養士 栄養士	保護者	朝食摂取の重要性	講話 資料配布	継続
				中学生	82.2%	100%	100%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	栄養教諭 学校栄養職員	小学生 保護者	朝食摂取の重要性	給食だより配布 放送資料提供、給食指導	継続
			朝食を欠食する成人の割合	20歳代男性	35.0%	15%以下	15%以下(H22)	食生活改善事業	健康増進課	保健師 管理栄養士 栄養士	市民	朝食摂取の重要性	広報つくばみらいへの掲載 資料配布	継続
				30歳代男性	11.8%	10%以下	15%以下(H22)							
			② 食を通じたコミュニケーションの促進	家族と共に夕食を食べる子どもの割合	幼児	92.0%	100%	100%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	栄養教諭 学校栄養職員	幼稚園児 小学生 中学生 保護者	家族と食事をする大切さ	給食だより配布 放送資料提供、給食指導 給食指導
		小学生			91.3%	100%	100%(H22)							
		中学生			79.1%	95%	95%(H22)							
		③ 食育に取り組む機会の提供	栄養講話をきく妊婦の数	46人(H22)	60人	-	マタニティ教室事業	健康増進課	保健師 管理栄養士	妊婦	妊娠期の栄養について	栄養講話 資料配布	継続	
			栄養相談を受ける産婦および乳児の数	365人(H22)	400人	-	新生児訪問・こんにちは赤ちゃん事業	健康増進課	保健師 助産師	保育者	乳児の栄養について	個別相談	継続	
			栄養相談を受ける保育者および児の数	766人(H22)	800人	-	ひよこ広場 3~4か月児健診 1歳6か月児健診 2歳児歯科健診 3歳児健診 育児相談	健康増進課	管理栄養士 栄養士	乳幼児 保育者	児の発育・発達に応じた栄養について	個別栄養相談 資料配布	継続	
			離乳食教室参加者数	241組(H22)	250組	-	離乳食教室	健康増進課	管理栄養士 栄養士	乳児 保育者	児に応じた離乳食の進め方について	栄養講話、試食、個別相談	継続	
			コアラクッキング教室参加者数	32人(H22)	40人	-	コアラクッキング教室	健康増進課	管理栄養士 栄養士	3歳以上の未就学児 保育者	望ましい食習慣	栄養講話、調理実習	継続	
			親子クッキング教室	35人(H22)	40人	-	親子クッキング教室	健康増進課	管理栄養士 栄養士	小学生 保育者	望ましい食習慣	栄養講話、調理実習	継続	
			弁当の日実施数	8回/年(H22)	8回/年	-	弁当の日	学校教育課	市	幼稚園児 小学生 中学生 保護者	食の大切さ 作り手への感謝の気持ち 家族との絆	弁当を食べる 家族と一緒に弁当を作る 自分で弁当を作る	継続	
			歯科講話を聞く妊婦の数	46人(H22)	50人	-	マタニティ教室事業	健康増進課	保健師	妊婦	歯みがきやむし歯予防について	資料配布	継続	
			歯みがき指導を受ける児の数	419人/年(H22) 395人/年(H22) 378人/年(H22)	420人/年 400人/年 380人/年	- - -	1歳6か月児健診 2歳児歯科健診 3歳児健診	健康増進課	歯科衛生士	児 保護者	歯みがきやむし歯予防について	個別指導	継続	
健診結果相談会実施者数	140人(H22)		180人	-	健康診査事後保健指導事業	健康増進課	保健師 管理栄養士 栄養士	18歳以上の市民	栄養バランスのとれた食事について	個別相談 資料配布	継続			
移動健康相談実施者数	134人(H22)	140人	-	健康相談事業	健康増進課	保健師 管理栄養士 栄養士	市民	栄養バランスのとれた食事について	個別相談 資料配布	継続				
まごころ弁当事業利用者数	2,309食(H22)	2,400食	-	まごころ弁当事業	介護福祉課	市	65歳以上の独居高齢者 高齢者世帯	健康や食の自立	栄養バランスのとれた弁当の配達	継続				

施策の柱	施策の領域	施策展開の方向	指標	現状値(H21)	目標値(H27)	県目標値(H27)	事業名	担当課	実施者(誰が)	対象(誰に)	何を	どのように(手段)	方向性	
(2) 学校、幼稚園、保育所等における食育の推進	① 学校等における推進体制の整備	食育計画を策定している保育所の割合		100%	100%	100%	保育所食育全体目標	児童福祉課	保育士 栄養士	保育士	食に関する指導について	計画資料配布・説明	充実	
				100%	100%	100%	食に関する指導の年間計画及び全体計画	学校教育課	栄養教諭 学校栄養職員	幼稚園教諭	食に関する指導について	計画資料配布・説明	充実	
		食に関する年間指導計画を作成している学校の割合	小学校	100%	100%	100%	食に関する指導の年間計画及び全体計画	学校教育課	栄養教諭 学校栄養職員	教職員	食に関する指導について	計画資料配布・説明	充実	
			中学校	100%	100%	100%	食に関する指導の年間計画及び全体計画	学校教育課	栄養教諭 学校栄養職員	教職員	食に関する指導について	計画資料配布・説明	充実	
		② 子どもの食の自己管理能力の育成	食事のあいさつをする子どもの割合	幼児	92.0%	100%	100%(H22)	保育所給食	児童福祉課	保育士	保育所児童	食事のマナーに関すること	給食指導資料配布	継続
								栄養啓発指導事業	学校教育課	幼稚園教諭 栄養教諭 学校栄養職員	幼稚園児	食事のマナーに関すること	給食指導資料配布	継続
	小学生			91.3%	100%	100%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	教職員 栄養教諭 学校栄養職員	小学生	食事のマナーに関すること	給食指導資料配布	継続	
			中学生	75.7%	100%	100%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	教職員 栄養教諭 学校栄養職員	中学生	食事のマナーに関すること	給食指導資料配布	継続	
	食事のあいさつを指導している保護者の割合		幼児	60.8%	70%	-	保育所給食	児童福祉課	保育士 栄養士 調理員	保護者	食事のあいさつの大切さ	資料配布 給食試食会	新規	
			小学生	43.6%	100%	100%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	教職員 栄養教諭 学校栄養職員	保護者	食事のあいさつの大切さ	家庭教育学級や学校保健委員会での講話	継続	
			中学生	53.4%	100%	100%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	教職員 栄養教諭 学校栄養職員	保護者	食事のあいさつの大切さ	家庭教育学級や学校保健委員会での講話	継続	
	夕食の調理を手伝っている割合(週3回以上)		幼児	80.7%	90%	-	保育所給食	児童福祉課	保護者	保護者	メニューの紹介	資料配布	継続	
			小学生	9.3%	50%	50%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	教職員 栄養教諭 学校栄養職員	中学生 保護者	メニューの紹介 調理の楽しさ	家庭教育学級や学校保健委員会での講話	継続	
		中学生	18.6%	50%	50%(H22)	栄養啓発指導事業	学校教育課	教職員 栄養教諭 学校栄養職員	中学生 保護者	メニューの紹介 調理の楽しさ	家庭教育学級や学校保健委員会での講話	継続		
	むし歯でない子ども	むし歯のある3歳児の割合	23.8%(H22)	23%以下	25%	3歳児健診	健康増進課	歯科医師 歯科衛生士	保護者	むし歯予防について	個別指導する	継続		
		むし歯のある12歳児の割合	21.2%(H22)	20%以下	1.5本以下	歯科検診	学校教育課	養護教諭	児童 保護者	むし歯予防について	資料配布	継続		
	③ 給食等を通じた食文化継承	学校給食における地場産品を使用する割合(茨城県産+市内産の食材使用割合, 食材数ベース)	31.0%	35%	35%	地産地消推進事業	学校教育課	給食センター	幼稚園児 小学生, 中学生	地場産品生産者会議	給食に活用 地場産品確保	継続		
	(3) 地域や職場における食育の推進	① 健康づくりを支援する食環境の整備	食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている市民の割合	34.7%	60%以上	60%以上(H22)	出前講座 健康教育 健康フェスタ	健康増進課	保健師 管理栄養士 栄養士	市民	食事バランスガイドの活用 法について	講話 資料配布	継続	
			メタボリックシンドロームの言葉と意味を知っている市民の割合	85.7%	95%以上	80%以上(H22)	出前講座 健康教育 健康相談	健康増進課	保健師 管理栄養士 栄養士	市民	メタボリックシンドロームの 意味と予防意識の定着	講話 資料配布	継続	
			いばらき健康づくり支援店登録数	1店舗	増加	県内 1,450店舗	いばらき健康づくり支援店	県保健予防課	市民	いばらき健康づくり支援店 に関する情報	資料配布 食生活改善推進員による周知	継続		

施策の柱	施策の領域	施策展開の方向	指標	現状値(H21)	目標値(H27)	県目標値(H27)	事業名	担当課	実施者(誰が)	対象(誰に)	何を	どのように(手段)	方向性	
		②生活習慣病予防の推進	健康教室事業参加者数(延人数)	596人(H22)	600人	-	健康教室事業	健康増進課	保健師 管理栄養士 栄養士 健康運動指導士	健康教室参加者	生活習慣病予防について	講話 資料配布 運動実践 健康食の試食	継続	
		③地域や職場を通じた食育の支援	成人歯科相談者数	76人(H22)	100人	-	成人歯科検診	健康増進課	歯科医師 歯科衛生士	市民	歯周病予防について	個別指導 資料配布	継続	
2 地域の食文化の継承づくり	(1)食文化継承・環境と調和のとれた地産地消の推進	①地域食文化「つくばみらいの味」の継承	1週間あたりの米飯給食回数	3.3回	4回以上	3.5回以上	地産地消推進事業	学校教育課	給食センター	幼稚園児 小学生、中学生	米(市内産コシヒカリ)	給食に活用	継続	
		②地産地消の推進	地産地消の言葉と意味を知っている市民の割合	56.7%	60%	60%(H22)	各種事業	児童福祉課 学校教育課 農政課 健康増進課	市	市民	地産地消について	資料配布 広報・ホームページ掲載 講話 イベント開催	継続	
		③環境に配慮した食育の推進	授業数	1回	1回	-	地産地消推進事業 栄養啓発指導事業	学校教育課	給食センター 教職員 栄養教諭 学校栄養職員	保護者 幼稚園児 小学生 中学生	フードマイレージ 食べ物の大切さ	講話 資料配布 授業	継続	
	(2)食の大切さを伝える体験活動と生産者との交流	①地域資源を活かした体験活動の推進	市民農園区画数	68区画	100区画	-	市民農園整備事業	農政課	市	市民	農産物の栽培、農作業	都市農村の交流をする	継続	
			大豆オーナー制度区画数	320区画	350区画	-	大豆オーナー制度事業	農政課	市	市民	地場産物の安心安全おいしさ	農産物の収穫を体験する	継続	
			イベント開催数	4回	5回	-	都市農村交流事業	農政課	都市農村交流協議会等	市民	地場産物の安心安全おいしさ	農作物の収穫を体験する	継続	
			田んぼアート参加者数	75人	100人	-	田んぼアート支援事業	農政課	NPO法人古瀬の自然と文化を守る会	市民	地場産物の安全安心おいしさ	農作物の収穫を体験する	継続	
			収穫イベント参加者数	500人	500人以上	-	収穫イベント事業	農政課	市	市民	農産物の栽培、農作業	農作物の収穫を体験する	継続	
			農業体験の取り組みがなされている学校の数	6校	6校以上	-	伊奈穂ふれあい給食事業	学校教育課	市	児童	収穫の喜びと食物に関する感謝の心を育	米を収穫し、その米を使用	継続	
		②生産者と消費者の交流促進	農産物直売所(みらいっ娘)の利用者数	-	55,000人/年	-	利用者数把握	農政課	直売所	市民	地場産物の安心安全おいしさ	安心安全な食材を提供する	継続	
			市内農産物直売所の産品率	100%	100%	-	産品率把握	農政課	直売所	市民	地場産物の安心安全おいしさ	安心安全な食材を提供する	継続	
	3 食をとりまく環境づくり	(1)市民運動推進のための体制整備	①継続的な食育運動の展開	食育に関心を持っている市民の割合	73.7%	90%以上	県民90%以上(H22)	出前講座 健康教育 健康相談 健康フェスタ	健康増進課	保健師 管理栄養士	市民	食育への関心	講話 資料配布 広報・ホームページ掲載	継続
				食育に関心を持っている保護者の割合	79.7%	90%以上	県民90%以上(H22)	乳幼児健診 栄養指導啓発事業	健康増進課 学校教育課	管理栄養士 栄養士 栄養教諭 学校栄養職員	保護者 保護者	食育への関心	資料配布 広報・ホームページ掲載 資料配布	継続 継続
			②食育に関わる人材の確保	食に関するボランティアの数	食生活改善推進員数	48人(H22)	50人	県で6,000人(H27)	食生活改善推進員養成講座	健康増進課	管理栄養士	食生活改善推進員養成講座受講者	食生活改善推進員としての活動に必要な知識	講話 資料配布
食育推進ボランティア数		7人(H22)			10人	県で1,400人(H27)	食生活改善事業	健康増進課	食育推進ボランティア	市民	食育の普及	講話 調理実習	継続	
③食の安全性に関する情報提供		食に対する不安を感じる市民の割合		79.9%	50%未満	50%未満(H27)	出前講座 健康教育 健康相談 健康フェスタ	健康増進課	保健師 管理栄養士	市民	食品の安全性	講話 資料配布 広報・ホームページ掲載	継続	